

記者発表資料

報道関係者各位

大阪商工会議所

「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」の開催について



(ナイトおくん)

【問合せ先】

大阪商工会議所 地域振興部 (石井、堤)

Tel : 06-6944-6323

【要 約】

- 本所は、国立国際美術館、日本テレマン協会とともに、3月7日(月・美術館定休日)、国立国際美術館にて「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」を開催する。
- これは大阪で住み・働く人々や国内外からのビジターが大阪の美術館や博物館などの公共空間で気軽に音楽や演劇、パーティ、レセプションなどに親しめる環境整備を行い、「まちの賑わい」を創り出すことが必要であるとの観点から「大阪ナイトカルチャー」事業(※)の一環として実施する「大阪ナイトカルチャー@公共空間事業」の第一弾事業。
- 当日は、日本テレマン協会(河合隼雄文化庁長官特別出演)によるレイトショー(コンサート)、館内レストラン「クイーン・アリスアクア」でのフレンチの鉄人・石鍋裕シェフによるディナーが開催されるほか、館内で開催中の特別展「中国国宝展」(朝日新聞社他主催)、「オノデラユキ写真展」及び常設展も、特別にオープンされる(月曜日は美術館定休日)。
- 同時に、近接するリーガロイヤルホテルでも、特別メニューの提供や割引などを提供し、地域でコンサートや飲食を楽しめる環境作りの試験運用を実施する。

1. 「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」の開催について(別添①～④)

- 「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」開催概要(別添①)
- 「大阪ナイトカルチャー ミュージアム・ディナー」(別添②)
- 「大阪ナイトカルチャー ミュージアム・コンサート」(別添③)
- 国立国際美術館の概要、「中国国宝展」、「オノデラユキ写真展」について(別添④)

2. リーガロイヤルホテルでの特別メニュー等について(別添⑤)

(※)「大阪ナイトカルチャー」事業とは

本所(集客機能強化委員会=小嶋淳司委員長・(社)大阪外食産業協会相談役理事、がんこフードサービス㈱代表取締役)では、大阪に住み・働く人々や国内外ビジターが「豊か」で「楽しく」、「安全」かつ「文化的」なナイトライフを過ごすことができる街・大阪を目指すとともに、新たな夜型市場の開拓や消費の拡大を図ることを目的に「大阪ナイトカルチャー」事業という名称の下、様々な事業を実施している。具体的には、大阪で開催される夜型エンターテインメントや観光メニューの開発をはじめ、仕事が終わった後でもゆっくり食事を楽しんでから参加いただけるように、午後7時30分以降開始の演劇やコンサートの公演(レイトショー)の推進等を通じた新たなライフスタイルの普及や、都心居住の促進などを目指している。

以 上



「大阪ナイトカルチャー@公共空間事業」キックオフ・イベント

「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」

1. (趣 旨)

- 「大阪ナイトカルチャー」事業の展開にともない、大阪城ホール、フェスティバルホール、いずみホール、NGKシアターなど大阪の主要ホールにおけるレイトショーが実現するとともに、新たな夜型イベントの開拓も着実に進展している。
- この流れを加速させるとともに、大阪で住み・働く人々や国内外からのビジターが大阪の美術館や博物館などの公共空間で気軽に音楽や演劇、パーティ、レセプションなどに親しめる環境整備を行い、「まちの賑わい」を創り出すことが必要であるとの観点から「大阪ナイトカルチャー」事業の一環として、「大阪ナイトカルチャー@公共空間事業」を実施する。
- その第一弾として、11月にオープンし、大阪における新たな文化情報の発信拠点として期待を集めている国立国際美術館にて、「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」と称するキックオフ・イベントを開催し、日本テレマン協会（河合隼雄文化庁長官特別出演）によるレイトショー（コンサート）、同美術館内「クイーン・アリスアクア」でのフレンチの鉄人・石鍋裕シェフによるディナー、「中国国宝展」（朝日新聞社他主催）、「オノデラユキ写真展」及び常設展での美術鑑賞などを楽しめる機会を創出する。また、近接するリーガロイヤルホテルでも、特別メニューの提供や特典割引などを実施し、地域でコンサートや飲食を楽しめる環境作りの試験運用を実施する。

2. (名 称) 「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」

3. (構 成) 主催： 大阪商工会議所、国立国際美術館、日本テレマン協会 ※関西元気文化圏参加事業

4. (時 期) 2005年3月7日（月） ※美術館定休日

5. (場 所) 国立国際美術館（大阪市北区中之島4-2-55）

6. (内 容)

16：30－ ○「中国国宝展」、「オノデラユキ写真展」及び常設展の鑑賞
(～19：15頃)

18：00－ ○「大阪ナイトカルチャー・ミュージアムディナー
～フレンチの鉄人・石鍋裕シェフによる特別メニュー～」
(同美術館内「クイーン・アリスアクア」 定員40名)

※ 別途、近接するリーガロイヤルホテルでは、プレコンサート用ディナーメニュー、カクテル等の提供を実施する。

19：30－ ○「大阪ナイトカルチャー・ミュージアム・コンサート」

※ 同美術館（地下2階展示場）にて、日本テレマン協会（オーボエ：延原武春氏、チェンバロ：中野振一郎氏他）によるレイトショー（コンサート）。河合隼雄文化庁長官も特別出演。定員240名。

7. (参加費) 3,500円（大阪ナイトカルチャー・ミュージアム・コンサート及び「中国国宝展」、「オノデラユキ写真展」、常設展） ※大阪ナイトカルチャー・ミュージアム・ディナーにも参加の場合は、別途5,000円の追加（8,500円）

以 上



(別添②)

大阪ナイトカルチャー ミュージアム・ディナー

～フレンチの鉄人・石鍋裕シェフによる特別メニュー～

開催日時： 平成17年3月7日（月） 午後6時～

開催場所： 国立国際美術館 地下1階レストラン 「クイーン・アリスアクア」

定 員： 40名（先着順）

料 金： 5,000円（ワンドリンク付・税サ込）

内 容： フレンチの鉄人、石鍋裕シェフによる特別ディナー。
館内「クイーン・アリスアクア」の通常コースメニューをアップグレードし、
プレ・コンサートディナーとして提供。

～ MENU ～

生ハムのアスパラガス巻き スモークサーモンサンド
熱々の海の幸のロワイヤル仕立て
フォワグラ大根
オリーブ牛のフィレ肉 網焼き
苺のイル・フロタン
チョコレートブラウニーと軽いコーヒー

【石鍋 裕 (ISHINABE YUTAKA) プロフィール】



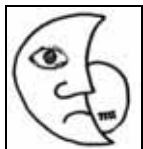
1948年、神奈川県生まれ。71年にフランスへ渡り、マキシムなどの有名レストランで修行。帰国後、82年に東京・西麻布に「クイーン・アリス」を開店。その後はフランス料理のほかに、中国料理、イタリア料理、日本料理、ベトナム料理、パティスリーショップなど、様々なジャンルの店舗を展開するほか、食材会社もグループとして経営。

また国立近代美術館や昨年11月には大阪国立国際美術館にアクアをOPENするなど、アート界とのコラボレーションでも話題を集めている。

2005年に開港の中部国際空港の食のアドバイザーや愛知万博VIP館など、料理人であるとともにプロデューサーとしての手腕も発揮する。本年春には南葉山にアリス・ヴィラをOPEN予定など、今後も食をとりまく様々な分野で新しい食空間を提案し続けている。

＜著書＞

「石鍋シェフの「新」家庭のお料理ノート」（世界文化社）、「クイーン・アリスの素敵スイーツ」（講談社）、「クイーン・アリスのひんやりドリンク&デザート」（日本文芸社）、「ヴェトナム・アリスのアジアン・エスニック」（講談社）



(別添③)

大阪ナイトカルチャー ミュージアム・コンサート



開催日時： 平成17年3月7日(月) 午後7時30分～9時

開催場所： 国立国際美術館 地下2階 展示場

定 員： 240名

内 容： 日本テレマン協会（オーボエ：延原武春氏、チェンバロ：中野振一郎氏他）による演奏とトーク。河合隼雄・文化庁長官特別出演

～ 演奏曲目 ～

(予定・都合により曲目が変更されることがあります)

A.ヴィヴァルディ：フルート協奏曲「ごしきひわ」

T.アルビノーニ：オーボエ協奏曲

J.S.バッハ：チェンバロ協奏曲 第4番 イ長調

G.Ph.テレマン：フルート・オーボエ通奏低音のためのトリオソナタ 二短調

A.マルチェロ：フルートと通奏低音のためのソナタ 二短調

ほか

以上

【日本テレマン協会 プロフィール】

1963年主宰者・延原武春により創設され、2003年に創立40周年を迎えた日本を代表する室内楽の総合団体。「テレマン室内管弦楽団」「テレマン室内合唱団」「テレマン・アンサンブル」「シンフォニエッタ・テレマン」「コレギウム・ムジクム・テレマン」「バロック・コア・テレマン」という6つの演奏団体と、「テレマン友の会」という鑑賞団体及び「日本テレマン協会後援会」の支援団体、これら全てを包括して『日本テレマン協会』と称する。



＜コレギウム・ムジクム・テレマン＞

拠点を関西に置き、バロック音楽の普及・啓蒙に優れた功績を重ね、現在では国内外を問わず、その活動の場を広げている。テレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の本邦初演をはじめ、そのレパートリーの豊富さは他の追随を許していない。また、その演奏は海外でも絶賛され、これまでにドイツ・フランス・イギリス・アメリカ・韓国・台湾等で好評を得ている。その他内外のアーティストとの共演や10枚以上のレコード・CDの出版も彼らの積極的な活動を物語っているといえる。主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭 優秀賞」（関西初）、「サントリー音楽賞」（関西初）等で、なかでも86年の「第17回サントリー音楽賞」の受賞は、関西に芽生えたこの団体の国内に於ける評価を決定的なものにした。

90年、我が国を代表するチェンバリスト中野振一郎がディレクターに就任。中野独特の演出力と圧倒的な音楽性の高さで、コレギウム・ムジクム・テレマンは多くの聴衆を魅了しつづけている。2000年よりコンサートマスターに中山裕一が就任。

なお、2003年の協会創立40周年にはその周年事業の一環として同年5月末にドイツより日本から唯一の団体として招聘を受け、「バッハ フェスティバル ライプツィヒ 2003」に出演し、その後アイゼナハ、マグデブルク等を含め、5都市での8公演行い大きな成果を収めて帰国している。

延原 武春 (NOBUHARA TAKEHARU)



日本テレマン協会代表 音楽監督・指揮者

日本テレマン協会代表・音楽監督。指揮者・オーボエ奏者。

1963 年日本テレマン協会を組織。テレマン室内管弦楽団・同室内合唱団、あるいはコレギウム・ムジクム・テレマンやバロック・コア・テレマンを率いて、日本全国はもとより世界中へとその活動の場を拡げており、日本の洋楽界に室内楽を定着させた功績は高く評価されている。特にバロック音楽に対する理解には定評があり、「18 世紀音楽の専門家」として多くの支持を集めている。

これまで四度にわたりテレマン室内管弦楽団とともに、ドイツ政府文化省より招聘を受け渡独。85 年には、ライプツィヒで行われた「バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭」に世界 19 カ国の演奏団体と共に日本代表として参加。99 年 2 月にもバロック楽器の団体、コレギウム・ムジクム・テレマンをチェンバロの中野振一郎と共に率いて渡独（バロック楽器団体の演奏がヨーロッパから招聘を受けたのは本邦初）。また指揮者としても、旧東ドイツ政府文化省の招聘を受け、ゲヴァントハウス・バッハオーケストラ（84 年）、名門・ズール・フィルハーモニー（85 年）、ライプツィヒ放送管弦楽団（89 年）にて客演指揮を行う。2001 年には大阪センチュリー交響楽団、2003 年にはアンサンブル金沢を指揮し大きな成功を収めている。

〔主な役職〕

日本テレマン協会代表・音楽監督・指揮者・オーボエ奏者の他に、（社）日本演奏連盟関西委員、（財）兵庫県芸術文化協会評議員、大阪市ユースオーケストラ音楽監督 など。

〔主な受賞歴〕

文化庁芸術祭 優秀賞（77 年）、神戸市文化奨励賞（83 年）、第 4 回井植文化賞（84 年）、サントリー音楽賞（86 年）、平成 12 年度兵庫県功労者表彰（県民生活振興功労賞）（2000 年）、平成 14 年第 37 回大阪市民表彰（2002 年）、平成 16 年神戸市文化賞（2004 年） ほか

中野 振一郎 (SHINICHIRO NAKANO)



Cembalo・チェンバロ

京都生まれ。86 年桐朋学園大学音楽学部演奏学科（古楽器専攻）を卒業。

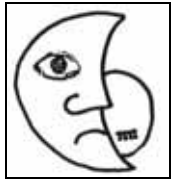
90 年、大阪で開いた 4 回連続の独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。91 年 7 月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに出演。ケネス・ギルバートやボブ・ファン・アスペレンら欧米を代表する名手と肩を並べ「世界の 9 人のチェンバリスト」の一人に選ばれる。

92 年、「バークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれ、93 年のロンドンの独奏会場ウィグモア・ホールでデビュー・リサイタルを開催。以降、94 年、サイモン・スタンデージとの二重奏を含む 3 回連続の演奏会「チェンバロ三夜物語」の開催などで国内外より高い評価を得る。一方、99 年のドイツ招聘演奏旅行ではコレギウム・ムジクム・テレマンを率いて見事に聴衆を沸かせ、ソリストとしてだけではなく、オーケストラの音楽を構成するディレクターとしての魅力を国際的にアピールした。なお、2004 年は、98 年の文化庁芸術祭音楽部門新人賞に続き、文化庁芸術祭大賞を受賞。

CD の収録にも意欲的で、仏、伊、独各国の作曲家の作品による多数のソロ・アルバムをリリース。中でも 2000 年にリリースした「ゴルトベルク変奏曲」ではヒストリカル・チェンバロとモダン・チェンバロによる演奏とをあわせて収録し、レコードアカデミー賞に輝いた。

〔主な受賞歴〕

「大阪文化祭賞・金賞」、「大阪市・咲くやこの花賞」（91 年）、「村松賞」、「関西芸術大賞・シルバー賞」（92 年）、「大阪文化祭賞・本賞」（94 年、95 年、96 年）、「文化庁芸術祭・音楽部門／新人賞」（96 年）、「第 22 回京都府文化賞」（2003 年度）、「兵庫県芸術奨励賞」（2004 年度）、「文化庁芸術祭大賞」（2004 年度）



(別添④)

国立国際美術館

「中国国宝展」、「オノデラユキ写真展」について

(1) 中国国宝展

会 期： 平成17年1月18日(火)～3月27日(日)

開催場所： 国立国際美術館 地下3階 展示場

内 容： 別添のリーフレットを参照



日本初公開

菩薩立像 東魏時代・6世紀

山東省青州市龍興寺址出土 高110cm

山東省・青州市博物館蔵

(2) オノデラユキ写真展

会 期： 平成17年2月5日(土)～4月17日(日)

開催場所： 国立国際美術館 地下2階 展示場

内 容： 別添のリーフレットを参照

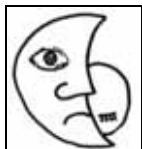


©Yuki Onodera

古着のポートレート No.45 (1997年)

ゼラチン・シルバー・プリント

115×115cm 国立国際美術館蔵



リーガロイヤルホテルでの特別メニュー等について

コーヒーハウス 「コルベージュ (Corbeille)」

(場所：1階、席数：200席、営業時間：6:30a.m.～11:00p.m.)

- <名 称> 「ミュージアム セット」
- <料 金> 2,945 円 (2,550 円：税サ抜料金)
- <内 容> 手頃な価格のスープとピラフのセット
 - ・本日のスープ
 - ・海の幸ピラフ

ダイニング&カフェ 「ナチュラルガーデン (Natural Garden)」

(場所：ウエストウイング1階、席数：120席、営業時間：11:30a.m.～9:30p.m.)

- <名 称> 「ナチュラル ハーモニー」
- <料 金> 5,775 円 (5,000 円：税サ抜料金)
- <内 容> 特別ディナーの提供
 - ・お出迎えの一皿 (小さなオードブル3種類 (冷製2品・温製1品))
 - ・温かいこだわり野菜のポタージュスープ
 - ・桜海老の衣をまとった真鯛のポワレと芽生えだした春野菜のデュエット
 - 又は
 - ・備長炭焼きした牛ロースに春野菜のメリメロ
 - 新緑のいぶきを感じるそら豆のクーリーに純白のブランマンジェ
 - ・焼きたてパン
 - ・コーヒー 又は 紅茶

「メインラウンジ (Main Lounge)」

(場所：1階、席数：150席、営業時間：9:30a.m.～10:00p.m.)

- <名 称> 「セレンディピティー (serendipiTea)」～ニューヨークからの贈り物～
- <料 金> 通常料金 1,200 円 (税込 1,386 円) を 10%オフ
(「大阪ナイトカルチャー@国立国際美術館」参加者のみ)
- <内 容> オーガニック (有機栽培) 手作り茶葉として N.Y. の由緒あるホテルやレストラン、高級食材店で扱われ、ニューヨーカー達に愛される「セレンディピティー」。日本紅茶協会より「美味しい紅茶の店」に認定されたメインラウンジにて、その「セレンディピティー」を RIHGA セレクションとして4つの味を楽しむ。
 - ・ダーズリン・オーガニック
 - ・アッサム・オーガニック
 - ・マンゴーセイロン・オーガニック
 - ・アールグレイ・オーガニック

「セラーバー (CELLAR BAR)」

(場所：地下2階、席数：150席、営業時間：5:00p.m.～0:00a.m.)

- <名 称> 「ゴージャス・ナイト」
- <料 金> 1,386 円 (税サ抜料金：1,200 円)
- <内 容> 大阪の夜を彩るカクテル
(宝玉のルビー色の夜景をイメージして創った、ほんのり甘いカクテル)